

浜田市旭自治区長

岩谷 欣吾 様

地域の課題解決に向けた事業要望書

旭自治区地域協議会

平成28年3月24日

浜田市旭自治区長

岩谷 欣吾 様

旭自治区地域協議会

会 長 岡 本 嗣 喜

地域の課題解決に向けた事業要望について

要望趣旨

行政当局におかれましては、平素より旭自治区の地域づくりをはじめ、日々の生活環境向上を目指しご尽力いただいていることに対し、旭自治区住民一同を代表し、心より感謝申し上げます。

さて、合併して10年が経過し、自治区制度も4年間延長となりました。今後の自治区制度の意義及び地域と行政との協働を更に深めていくために、平成23年に設置した3つの部会を再編成し、それぞれのテーマに沿った住民・行政が密接に連携し、地域の個性を活かしたまちづくりを構築していくための政策提案の作業を進めました。ここに、その事業をまとめましたので、内容を勘案の上、政策推進及び検証をしていただきますよう要望いたします。

地域協議会部会一覧

～部会の設置目的～

旭自治区地域協議会の自発的取り組みとして、
 現行の自治区制度がH32.3.31延長し、制度変革となる中、
 今後、自治区及び全市としての事業構築を地域協議会委員自ら
 行うことにより、地域住民の意見を市政に反映することを目的に
 部会を設置し、詳細な事業構築を行うものです。

地域づくり部会		
◎	岡本 宏	丸原
○	細野 久美子	山ノ内
	岡本 嗣喜	重富
	日田 孝	都川
	柿木 孝雄	市木
	栗栖 敏彦	事務局
	官澤 真雄	事務局
安心・環境づくり部会		
	池野 豊	丸原
	藤本 静晴	木田
○	畠山 昭夫	和田
◎	馬場 真由美	本郷
	白川 則子	都川
	佐々尾 昌智	事務局
	大屋 和美	事務局
産業・基盤づくり部会		
○	河野 幹夫	坂本
	川本 進	今市
◎	芳川 榮佑	本郷
	渡辺 久男	戸川
	久永 珪子	市木
	田村 邦麿	事務局
	兒島 正俊	事務局

◎部会長 ○副部会長

上記のほか、助言・記録係として支所長・各課長・地域振興係
 を配置。今後、3部会で延長された自治区制度の間の短期・中期
 事業し、全市的事业や時間を要する事業は長期事業と位置づけ、
 住民の意見を市政に反映する事業展開がされるよう協議を行った。

旭自治区地域協議会 政策提案事業一覧表

No.	部会	新・継	事業	事業費_千円	28年度	29年度	30年度	31年度
1	地域づくり部会	継続	集落機能再編強化補助事業	10,520	2,630	2,630	2,630	2,630
2	地域づくり部会	継続	旭自治区遊休施設検討会議	1,224	306	306	306	306
3	地域づくり部会	新規	(仮称) ふるさと郷育推進事業	2,575	-	2,575	-	-
4	安心・環境づくり部会	新規	高齢者活動促進支援事業	153,600	36,500	43,500	36,800	36,800
5	安心・環境づくり部会	継続	検診等受診支援事業	90,492	22,623	22,623	22,623	22,623
6	安心・環境づくり部会	新規	拠点施設等AED設置事業	1,000	-	500	500	-
7	産業・基盤づくり部会	新規	農業振興補助対策事業 (地域参加型村おこし事業) (農機具購入補助事業(継続))	18,906	6,302	6,302	6,302	-
8	産業・基盤づくり部会	新規	生活道路整備事業(新規)	80,000	20,000	20,000	20,000	20,000
9	産業・基盤づくり部会	新規	旭自治区小規模事業者再生支援事業	30,000	10,000	10,000	10,000	-
10	産業・基盤づくり部会	新規	ゲレンデトレッキング事業	5,000	-	2,500	2,500	-

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事業提案説明シート

No.1

事務事業名	集落機能再編強化補助事業	担当部・課	旭支所防災自治課
事業期間	単年度・ 複数年度	事業区分	新規・ 拡充
	平成 24年度～平成 31年度・終期未定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・ 自治区 ソフト・自治区ノード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	組織を統合した自治会等に対し、その統合又は統合当初の活動に要する費用の一部を補助することにより、自治会等の組織の再編を促進し、組織機能の強化及び組織活動の活性化に資することを目的とします。							
②背景	中山間地域の少子高齢化がさらに進み、従来の中山間地域の自治の基礎単位であった自治会(集落)の範囲での自治機能などの衰退が進み、それを補完する仕組みとして、より大きな範囲で住民を主体とした地域運営組織の構築が取り込まれる例が多くみられるようになっている							
③効果	1 組織統合を行う中で、互いに自治組織機能を維持・再編を行うことができる。 2 組織統合に伴い、集会施設の整備や設備整備を行うことで、集落内のコミュニケーションを深め、より良い集落づくりの一円となる。							
④事業概要	<p>組織を統合した自治会等に対し、その統合又は統合当初の活動に要する費用の一部を補助を行い、自治会等の組織の再編を促進し、組織機能の強化及び組織活動の活性化に資する</p> <p>補助対象者 補助の対象となる者は、旭自治区において、自治会又は行政区として一定の区域に住所を有する者の地縁に基づき形成される団体(以下「自治会等」という。)のうち、過去2年以内に組織の統合をした自治会等とします。</p>							
⑤(事業詳細・予算)	補助内容							
	1 組織運営関係				2 施設整備関係			
	事業区分	補助対象経費	補助金額	補助限度額	事業区分	補助対象経費	補助金額	補助限度額
	ア 組織統合支援事業	組織統合に要する経費	組織統合前の1自治体等につき30万円	1万円	ア 集会施設等整備事業	組織統合に基づく集会施設等の新築又は改修に要する経費	補助対象経費の3分の2以内の額	200万円
	イ 交流推進事業	交流推進のための活動に要する経費(飲食に要した経費を除く。)	補助対象経費の3分の2以内の額		イ 集会施設等設備整備事業	組織統合以後に必要な備品又は設備類の購入に要する経費	補助対象経費の3分の2以内の額	20万円
ウ 格差是正事業	各世帯が負担する活動負担金が、組織統合前に比して組織統合後に増額となった場合の差額相当額(組織統合後1年間の活動に係る活動負担金に限る。)	補助対象経費の額	2万円					

⑥主体 地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	2,630	2,630	2,630	2,630	2,630

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	遊休施設利用検討会議	担当部・課	旭支所防災自治課
事業期間	単年度・複数年度	事業区分	新規・ <u>拡充</u>
	平成 28年度～平成 31年度・終期未定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・ <u>自治体ソフト</u> ・自治体ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	旭自治区内の用途廃止後の遊休施設利用の検討を行うことを目的とし、地域住民の意見を取り入れ、「遊休施設活用検討会議」を設置し、検討を行う場を設置する。
②背景	旭自治区内の学校閉校による用途廃止後の施設の利活用のあり方等について、主に公共的な利活用を基本に、様々な角度から有効活用が図られる方策の検討を行ってきた。 当会議は、地域の関係者が集まり、今後の用途廃止後の施設の利活用のあり方等について、地域組織・行政が一体となって協議・検討を行い、利活用を行う提案を行うものであります。
③効果	1. 校舎、多目的集会施設などは、可能な限り有効活用する。 2. 公共施設等としての利活用及び民間による利活用などについて幅広く検討する。 3. 地域住民の意見等を十分に聴き、全市的な視点をもって検討する。
④事業概要	旭自治区内の用途廃止後の遊休施設利用の検討を行うため、会議を開催する
⑤(事業詳細・予算)	【積算根拠】 日当 6,000円×10人×5回＝300,000円 食糧費 120円×10人×5回＝ 6,000円 合計 306,000円
⑥主体	地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	306	306	306	306	306

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事業提案説明シート

No.3

事務事業名	(仮称)ふるさと郷育推進事業	担当部・課	教育委員会旭分室
事業期間	単年度・複数年度	事業区分	新規・拡充
	平成 29年度～平成 29年度・終期末定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード <u>自治区ソフト</u> ・自治区ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	旧旭町の偉人を紹介した冊子を作成し、郷土の偉人を紹介冊子を漫画形式にして、郷土歴史を継承する。また郷土の歴史や先人の活躍を学んで、人々が我が地域に誇りを持つことが地域活性化のベースになるという視点から活用することを目的とする。
②背景	1. 郷土の偉人(佐々田懋、服部之總、湯浅啓温、長山喜一郎など)を当地域では輩出しているが、郷土の偉人の功績を学ぶ機会が少ないため、現在の小中学生は知らない児童生徒が多数見受けられる。
③効果	1 地域の誇れる歴史を子どもたちに分かりやすく伝え、郷土への愛着と誇りを持った、未来を託す小中学生を育くむきっかけとして活用できる。 2 今回は、地域偉人の漫画本を出版し、旭自治区の学校を中心に配布を行います。郷土のために尽くした偉人伝を出版し、子供たちが読むことで、郷土への誇り、郷土愛を育み、地域貢献の大切さや自然環境を考える大人に成長されることを願うものです。
④事業概要	1 郷土を愛し尽力した歴史上の偉人の物語を漫画本にする。 2 原作:白川英隆、協力者:2名、漫画:佐々岡健次(案)
⑤(事業詳細・予算)	【積算根拠】 郷土歴史冊子作成監修報酬 150,000円 郷土歴史冊子作成監修協力者報酬 50,000円×2人=100,000円 漫画作成費報酬 400,000円 漫画冊子印刷製本費 2,500円×700冊×1.1(消費税)= 1,925,000円 合計 2,575,000円
⑥主体	地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	2,575		2,575		

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	高齢者活動促進支援事業	担当部・課	健康福祉部・健康長寿課
事業期間	単年度・ 複数年	事業区分	新規・ 拡充
	平成 年度 ~ 平成 年度・ 終期未定		裁量 ・政策ソフト・政策ハード・自治区ソフト・自治区ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	交通手段を持たない高齢者に対し、外出(公共施設利用、買物、ミニデイサービス事業(いきいきサロン)等)機会の拡大を図ることにより、自身の社会参加(地域活動、コミュニティづくり等)の促進や生きがいづくり活動を支援する。
②背景	旭自治区の現状 南高台を除く高齢化率46.0%(今年10月現在)は弥栄自治区に次ぎ2番目に高い。 介護保険要介護認定率30.2%(平成27年度浜田市保健福祉の概況)は自治区別で一番高い。
③効果	1 外出機会が拡大することにより、閉じこもりや心身機能の低下等を予防することが期待できる。 2 積極的に社会参加することにより、これまで培ってきた経験や知識を活かした健康で生きがいのある豊かな生活を送ることが期待できる。 3 健康であることにより、通院による医療費が削減され地域における小売店での消費拡大などの効果が期待できる。
④事業概要	高齢者に配慮した、安全・安心かつ気軽に外出できる環境づくりを進める。 1 高齢者が外出したくなる場の提供 (例:ミニデイサービス事業の継続) 2 人的ネットワークの構築 (例:地域における学習や対話の場の充実) 3 自治会輸送等による”ドア・トゥー・ドア”サービスの実現 4 介護予防・日常生活支援総合事業における移動支援の研究
⑤(事業詳細・予算)	事業の推進に当たっては全市で検討されることを要望する。 【積算根拠】 ミニデイサービス事業委託料 37,910千円(旭自治区事業6,774千円) 事業所分を含む(H27) 車両購入費 2台 7,000万円 車両維持費 30万円
⑥主体	地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	153,600	36,500	43,500	36,800	36,800

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事業提案説明シート

No.5

事務事業名	検診等受診支援事業(全市事業)	担当部・課	健康福祉部・地域医療対策課 市民生活部・医療保険課
事業期間	単年度・ <u>複数年度</u>	事業区分	新規・ <u>拡充</u>
	平成 年度～平成 年度・ <u>終期未定</u>		<u>裁量</u> ・義務・政策ソフト・政策ハード・自治体ソフト・自治体ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	働き盛りの者に対し、PET-CTがん検診及び脳ドック(以下「検診等」という。)の受診を勧奨することにより、地域住民の健康の保持及び増進並びに地域住民が安心して暮らせる健康長寿社会の実現を支援する。
②背景	浜田市の現状 がんの死亡率は県と比較して男性が高い。(対県比:107) 脳血管疾患の死亡率は県と比較して男女ともに高い。(対県比:男128、女120) ※自治体別の調査は行われていないため不明
③効果	1 検査結果に基づいて生活習慣の見直しを行うことで、病気の発症を未然に防ぐことが期待できる。 2 病気を早期に発見し、早期に治療を行うことで、身体的及び経済的な負担軽減を図ることが期待できる。
④事業概要	検診等の受診が、疾患の早期発見・早期治療に繋がることを周知することで、検診等に対する意識の向上を図る。 1 検診等未受診者に対する個別受診の勧奨 2 地域の関心を高める啓発活動の強化 3 PET-CTがん検診助成事業、脳ドック事業及び人間ドック事業の継続
⑤(事業詳細・予算)	検診等受診に要する費用の自己負担額の軽減について引き続き検討されることを要望する。 PET-CTがん検診 検査費用93,000円 自己負担額63,000円(H28) 脳ドック 検査費用44,280円 自己負担額10,000円(H28) 【積算根拠】 PET-CTがん検診 受診者 65人 事業費 2,000千円 脳ドック 受診者430人 事業費20,623千円 PET-CT検査(症状がまだ現れない段階で、がんがあるかどうかの可能性を調べる検査) ・短い検査時間で一度にほぼ全身のがん検査ができます。 ・がんの良性・悪性の鑑別、がんの進行度の診断ができます。 ・1回に受ける被ばく量はおよそ胃の透視検査(バリウム検査)とほぼ同じです。
⑥主体	行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	90,492	22,623	22,623	22,623	22,623

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事業提案説明シート

No.6

事務事業名	拠点施設等AED設置事業	担当部・課	総務部・安全安心推進課 旭支所・防災自治課
事業期間	単年度・ <u>複数年</u> 平成 29年度 ~ 平成 30年度・終期末定	事業区分	新規・ <u>拡充</u> 裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・自治体ソフト・自治体ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	クラスⅠ地域で重篤な傷病者が発生した場合、住民自らが救命を目的としてAED(自動体外式除細動器)を やすい体制を整備する。 市民の安全安心を確保するため、AED設置箇所からの遠隔地解消を目指す。
②背景	旭自治区における設置の現状 今市地区:12箇所 木田地区:3箇所 和田地区:3箇所 都川地区:1箇所 市木地区:4箇所 旭自治区内合計 :23箇所
③効果	1.突然の急患が生じた場合、少しでも早い処置を行うために最寄の設置済AEDを使用することで、人命救助につながる。
④事業概要	大字を単位とする地域住民に広く活用される拠点施設に、AEDを設置する。 また、設置する場所を「距離」ごとに配置することを検討し、効率的な運用を目指す。 (各行政区の集会所など拠点となる施設に設置)
⑤(事業詳細・予算)	【積算根拠】 AED購入・設置 50万円/台 設置する場合、経常コストも掛かってくるため、既存の配置場所も見直し、検討する。 ～日本心臓財団が推薦する設置場所～ クラスⅠ(設置必須) 日本心臓財団によると、特に必要性が高いとして設置を推奨する場所として、「クラスⅠ(設置必須)」が、1日の乗降客数が1万人以上の駅、空港、学校、市役所などの大規模な行政施設及び商業施設、学校、プールやゴルフ場などのスポーツ施設、高齢者等介護を必要とする人が多く利用する施設 クラスⅡ(設置推奨) 「クラスⅡ(設置推奨)」では、1日の乗降客数1万人未満の駅、公民館などの中規模の行政施設及び商業施設、大規模な集合住宅
⑥主体	行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	1,000		500	500	

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	農業振興補助対策事業 (地域参加型村おこし事業) (農機具購入補助事業(継続))	担当部・課	旭支所 産業建設課
事業期間	単年度・ 複数年 平成28年度～平成30年度・終期未定	事業区分	新規・ <u>拡充</u> 裁量・義務・政策ソフト・政策ハード <u>自治区ソフト</u> 自治区ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	農地保全をはじめ農林業の振興、地域特産品の開発などへ積極的に取り組もうとしている者に対して支援することで、農業を核とした更なる地域活性化を目指すため事業を実施する。	
②背景	浜田市の農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、後継者不足に加えて農林産物の価格の低迷、特に米価の下落、米生産調整の強化などによって生産額の減少傾向が続くなど、深刻な問題が山積している。	
③効果	各自治区が特色ある補助事業を実施することで、農地の保全はもちろんのこと、個人農業者、担い手農家などそれぞれ個々の生活、経営、地域活性化が図られ、住みよいまちづくり、住んで良かったと思える、農業をキーワードとしたまちづくりが展開できる。	
④事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事業実施期間 平成28年度～平成30年度 ○根拠法令等・・・浜田市農業振興対策事業補助金交付要綱 (平成28年4月1日から平成31年3月31日限り) ○対象者・・・集落及び農産物販売農家 ○事業名及び補助率・・・ <ul style="list-style-type: none"> ① 旭豊米販売促進事業(2/3) ② 加工品開発関連事業(2/3) ③ 水稲担い手農家支援事業(1/2) ④ ハウス等整備事業(1/2) ⑤ 堆肥等利用促進事業(1/2) ⑥ 新規産直市出荷奨励事業(1/3) ⑦ 野菜苗等購入補助事業(1/3) ⑧ 先進地視察研修事業(1/3) 	
⑤(事業詳細・予算)	<p>■負担金補助及び交付金・・・6,302千円(平成28年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①旭豊米販売促進事業(2/3) 300千円×2組織×2/3=400千円 ②加工品開発関連事業(2/3) 3,000千円×2/3=2,000千円 ③水稲担い手農家支援事業(1/2) (1)トラクター、田植機、コンバイン 3,600千円×1台×1/2=1,800千円(補助額1,000千円) ④ハウス等整備事業(1/2) 1,620千円×3棟×1/2=2,430千円 ⑤堆肥利用促進事業(1/2) 100千円×5件×1/2=250千円 ⑥新規産直市出荷奨励事業(1/3) 300千円×22%(手数料)×1/3=22千円 ⑦野菜苗等購入補助事業(1/3) 300千円×1/3=100千円 ⑧先進地視察研修事業(1/3) 300千円×1/3=100千円 	
⑥主体	地域・行政	

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	18,906	6,302	6,302	6,302	

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	地域支援道路等整備	担当部・課	旭支所 産業建設課
事業期間	単年度・ 複数年	事業区分	新規 ・拡充
	平成28年度～平成31年度・終期末定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・自治体ソフト・ <u>自治体ハード</u>

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	誰もが安心して快適な日常生活を営むためには生活環境の整備が必要であり、安心安全な生活を支援するため、地域の残された課題を解決することを目的とし、小規模ながら実効性のある生活道路等の整備を行う。
②背景	点在する住家への侵入路としての市道が線形も悪く、狭小であることや、高齢化の波が急激に進む中で道路等の草刈への負担が増える等、多くの課題を抱える旭自治体において、生活道路の部分拡幅や線形改良、排水改良や、獣害・防草対策等の整備が急務となっている。
③効果	超高齢化により電動車の普及も増す中、地域住民にとって安全安心な通行が確保できるとともに、地域の生活環境の向上が図られる。
④事業概要	局所的な道路部分拡幅・線形改良工事や小規模な排水整備、または猪をはじめとする獣被害対策及び防草対策工事を実施する。
⑤(事業詳細・予算)	
⑥主体	地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	80,000	20,000	20,000	20,000	20,000

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	旭自治区小規模事業者再生支援事業 (地域及び温泉旅館組合との検討会議)	担当部・課	旭支所 産業建設課
事業期間	単年度・ 複数年度	事業区分	新規・拡充
	平成28年度～平成30年度・終期未定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・ 自治区ソフト ・自治区ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	<p>旭自治区では平成23年度より5年間、5つの地域においてコンサルタント業者に地域再生活活性化計画の策定を委託し、地域と行政、そして委託業者が連携しながら、協働・住民参加による実践計画の立案や、その計画に基づく実践事業の実施など、実践と評価を織り込んだ、地域活性化を目指す「地域再生活活性化事業」を実施し、「都川の縁側喫茶」や「木田暮らしの学校の開校」等、様々な地域活性化が展開されてきました。</p> <p>このような状況下、地域活性化策の第2弾として地域住民の生活を支える小規模事業者等の再生、活性化が急務となっています。</p> <p>旭自治区内の小規模商店等は、地域経済において重要な役割を担うとともに、地域の暮らしを支える生活基盤として、多様なコミュニティ機能を担ってきましたが、近年の社会構造の変化の中で、商店等が中長期的に事業継続していくためには、高齢化社会に対応しうる施設環境の整備や、地域住民のニーズに応えるサービスの提供が求められています。これらを実現するために商工会と連携し、事業実施するものに対し経費の一部を補助する事業を展開します。</p>
②背景	上記の記述
③効果	訪れやすい施設等への整備など、多様なニーズに応じた事業展開をすることで、これまでに無い集客アップや、廃業への歯止め、疲弊した商店等の再生が可能となるとともに、地域全体の活性化が図られる
④事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事業実施期間 平成28年度～平成30年度 ○根拠法令等・・・浜田市旭自治区小規模事業者再生支援事業補助金交付要綱 (平成28年4月1日から平成31年3月31日限り) ○対象者・・・旭自治区内の商工会会員である中小企業者 ○事業名・・・施設整備事業 ○補助率 事業費の2/3  
⑤(事業詳細・予算)	<p>■負担金補助及び交付金</p> <p>①施設整備事業・・・10,000千円(平成28-30年度) 5,000千円×3施設×2/3</p>
⑥主体	地域・行政

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	30,000	10,000	10,000	10,000	

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

事務事業名	ゲレンデトレッキング事業 (ハイキングコース)	担当部・課	旭支所 産業建設課
事業期間	単年度・ 複数年	事業区分	新規・拡充
	平成29年度～平成30年度・終期未定		裁量・義務・政策ソフト・政策ハード・自治区ソフト・自治区ハード

(1)事業の概要・全体計画等

①目的	浜田市唯一のスキー場である「アサヒテングストーンスキー場」周辺は、ブナクラス域自然植生の地域であり、ブナの自然林と一部にススキ草原が見られ、また、天然スギが高山特有の奇勝であるこの一帯は、非常に自然景観の優れた地域である。 しかしながら、ゲレンデは春から秋にかけては全く活用されていない状況であるため、この自然林を含めたトレッキングコースを整備することにより、広島市内を中心とした来浜者の増加を促進するとともに、地元特産品の販売拡大や近隣施設への波及効果の推進を図る。	
②背景	上記の記述	
③効果	① 季節的遊休施設を活かした地域振興 ② 地域活動と高齢者の生きがい対策 ③ 温泉施設への誘客 ④ 周年を通じた地域ブランド力の向上	
④事業概要	① 自然環境に配慮したトレッキングコースの整備 ・早水渓谷からテングストーン、天狗石山、三ツ石etc ・環境に調和した現在ある地域資源の活用 ② 地元の山菜を中心とした「食」の提供 ・地域活動と高齢者の智慧を活かした生きがい対策 ・天狗石農村交流センターを拠点とした「食」の提供 ③ 旭温泉との連携による滞在人口の確保 ・温泉利用の割引制度 ・旭温泉をコースに含めたロングトレイル化	
⑤(事業詳細・予算)	■ 工事請負費・・・2,500千円(平成29年度予定) 平成28年度・・・コース選定 0円 平成29年度・・・コース環境整備 2,500千円 平成30年度・・・コース環境整備 2,500千円	
⑥主体	地域・行政	

(2)事業費

単位:千円

	全体計画	28年度	29年度	30年度	31年度
事業費	5,000		2,500	2,500	

※事業費については、要望したい額を記載。したがって、実施に当たっては精査が必要。

**旭自治区地域協議会 地域づくり部会
既存施設の具体的活用 協議結果最終報告**

【地域協議会】 岡本 宏 部会長 細野久美子 副部会長 岡本嗣喜 委員 日田 孝 委員 柿木孝雄 委員	会議日時 H27.12.3 19:00-
【各種団体】 浜田市社会福祉協議会 木村副会長 今市公民館 大屋主事 放課後児童クラブ 高田副委員長 稲田指導員 今市自治会 川本会長(H27)、高羽会長(H28)	H27.12.25 13:30- H28.1.7 9:30- H28.1.21 13:30-
【執行部】 田村支所長 佐々尾市民福祉課長 佐古建築係長	H28.1.27 13:30-
【事務局】 栗栖防災自治課長 官澤地域振興係長	H28.2.12 13:30-
内 容	

◎**経緯説明**：耐震改修及び解体に伴う財源として合併特例債を活用するが、その期限が平成31年度のため、当計画の実施のため関係団体とともに再配置、協議を重ねた。協議メンバーは、対象の既存施設の現地視察などを行うなど、積極的に検討を行った。

H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
旧今市分校 旭支所耐震調査結果	サマーレビュー計画提示 6月・H29予算	支所耐震改修設計	旭支所・改修工事	旭センター解体工事	工事完了	

事務局が示した 庁舎耐震計画及び旭センター解体工事計画工程（案）

◎各関係団体の最終要望は下記のとおり

社協 集いやすい場所を希望→旭支所2階川側入口旧出納室、倉庫
 ただ、給食配送について問題がある。

市自治会 保健センターを希望
 葬祭センターを建設・誘致を希望。防災機材庫の設置を希望。
 老人休養室周辺に調理場整備を希望。そうすれば、社協も使用できる。

今市公民館 保健センターを希望

放課後児童クラブ このまま現況使用する
 取り壊しの際は、プレハブ建築でよいが、小学校近隣に建設を希望。

◎団体意見を集約し、部会長が協議結果を整理

- 旭センター（本館）→ **解体**
- 旭センター（老人休養室）→ **現状維持（調理場増設要望）**
- 旭支所庁舎 2階旧出納室・倉庫 → **社協旭支部事務所**
- 保健センター → **今市公民館・今市自治会**
- 旧浜田高等学校今市分校校舎 → **使用無し → 今後公募する**
- 旧浜田高等学校今市分校体育館 → **体操教室**

以上、地域協議会地域づくり部会のまとめた意見とする。

旭自治区 地域協議会 部会事業策定スケジュール

時期	協議内容	備考
平成 27 年 5 月 15 日	新自治区制度案を撤回し、現行制度を一部見直し存続する方針とした。制度の期限は平成 31 年度末の期限とし、平成 31 年 9 月までに市議会で協議することとした。	市議会全員協議会
平成 27 年 8 月 3 日	第 5 回旭自治区地域協議会にて地域協議会の自発的な取り組みとして部会の設置を決定	地域協議会
8 月	各 3 部会での事業選定	各部会
9 月	各 3 部会での事業選定・精査	各部会
10 月 1 日	第 6 回旭自治区地域協議会にて部会協議内容の第 1 回中間報告	地域協議会
11 月 12 日	第 7 回旭自治区地域協議会にて部会事業の優先順位付け	地域協議会
12/7- 1/21	旭支所内各担当 「事業提案説明シート」作成 (予算策定・事業内容精査)	旭支所各課長・係長・事務局
12/3- 2/12	課題である遊休施設活用について地域づくり部会が主体となり部会で検討を行った(会議 6 回開催)	地域づくり部会
平成 28 年 1 月 21 日	旭自治区地域協議会にて各部会協議内容の協議	地域協議会
2 月初旬- 2 月 15 日	旭自治区地域協議会 各部会事業計画書の取りまとめ	各部会・事務局
2 月 16 日	旭自治区地域協議会にて各部会事業計画書の最終協議	地域協議会
3 月中旬	最終報告書の取りまとめ	各部会・事務局
3 月 24 日	事業要望書の提出	地域協議会会長→自治区長

旭自治区地域協議会 検討事業要望一覧表

No.	部会	主要施策	新・継	事業	事業主体	事業費_千円	検討結果 (H28.1)
1	共通→地域づくり	定住対策	新規	U・Iターン者への支援事業	行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
2	共通→地域づくり	定住対策	新規	定住対策支援事業	行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
3	共通→地域づくり	定住対策	新規	婚活事業	地域・行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
4	共通→地域づくり	定住対策	新規	子育て支援事業 シングルマザー支援事業	住民	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
5	共通→地域づくり	地域公共交通	継続	・交通空白地帯解消 ・地域状況に応じた効率的で利便性の高い運行形態	地域、学校 及び行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
6	共通→地域づくり	遊休施設	継続	・遊休施設利用検討会議	地域・行政		定住対策基金事業を活用し「遊休施設活要検討会議」を今後も組織化し、検討を行える場を設置する。(継
7	共通→産業・基盤づくり	旭温泉	継続	・地域及び温泉旅館組合との検討会議 ・高齢者や健康志向に合わせた設備を有した施設の検討	地域・行政		「旭自治区小規模事業者再生支援事業」を提案(H28～30)
8	共通→地域づくり	人材育成	継続	安心ネットワークの確立	地域・行政		安心・環境づくり部会で提案のあったNo.33を軸に事業化する
9	地域づくり部会	集落機能再編	継続	集落機能再編強化補助事業	地域・行政		定住対策基金事業を活用し「集落機能再編強化補助事業」補助金を設置する。(継続)
10	地域づくり部会	地域組織の充実	継続	住民自治組織の充実 及び、活性化	地域・行政	×	まちづくり推進委員会の連携は必要と考える。しかし、基金を活用した事業等は設置しない。事業化は見送る。
11	地域づくり部会	既存施設の有効活用	継続	旭自治区遊休施設有効活用事業	地域・行政		定住対策基金事業を活用し「遊休施設活要検討会議」を今後も組織化し、検討を行える場を設置する。(継
12	地域づくり部会	人づくり	新規	(仮称)ふるさと郷育推進事業	地域・行政		旭町の偉人を紹介した漫画を作成し、後世に残る形の冊子を作る。(事業化する) 原作:白川館長、漫画:佐々岡健次(案)
13	安心・環境づくり部会	健康づくり	新規	健康づくり事業	地域	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
14	安心・環境づくり部会	保健・医療・福祉	新規	保健医療福祉推進協議会	行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
15	安心・環境づくり部会	福祉	新規	「子どもの貧困」サポート事業	行政	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
16	安心・環境づくり部会	福祉	新規	小規模・高齢化集落支援事業	地域・行政		事業の方向性を交通手段の確保に改め提案する。
17	安心・環境づくり部会	福祉	新規	介護・医療・福祉連携促進事業	地域・行政	×	現在進められている事業は提案しない。
18	安心・環境づくり部会	医療	継続	PET-CTがん検診支援事業	行政		検診関係の事業として一つにまとめ提案する。
19	安心・環境づくり部会	医療	新規	脳ドッグ受診支援事業	行政		検診関係の事業として一つにまとめ提案する。
20	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	棚田等農地保全事業(継続)	行政	×	H28事業継続、その後国の事業で対応(提案なし)
21	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	用排水整備事業(継続)	地域・行政	×	国の事業で対応(提案なし)
22	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	地域参加型農道整備事業(継続)	地域	×	H27年度で終了(提案なし)
23	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	地域参加型農村景観支援事業(危険木・支障木除去)	地域	×	市で事業化されているため提案なし
24	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	基盤整備促進事業	地域・行政	×	国の事業で対応(提案なし)
25	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	新規	農地維持保全に向けた集落の連携・組織化	地域・行政	×	ブランド化に併せて推進する(提案なし)
26	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	新規	地域参加型村おこし事業 (旭米ブランド化の推進、ミニライスセンター整備)	地域		ブランド化:「農業振興補助対策事業」を提案(H28～30) ライスセンター:引き続き検討する(提案なし)

旭自治区地域協議会 検討事業要望一覧表

No.	部会	主要施策	新・継	事業	事業主体	事業費_千円	検討結果 (H28.1)
27	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	農作物等鳥獣被害防止対策事業	地域	×	現在進められている事業のため、提案は見送る。
28	産業・基盤づくり部会	農林業の振興	継続	農機具購入補助事業 (継続)	地域	×	「農業振興補助対策事業」を提案(H28～30)
29	産業・基盤づくり部会	生活基盤整備	新規	生活道路整備事業 (新規)	地域・行政		「地域支援道路等整備事業」を提案
30	産業・基盤づくり部会	生活基盤整備	新規	旭運動公園整備事業	地域・行政	×	「旭運動公園整備事業」を提案(H28～31)
31	産業・基盤づくり部会	伝統文化の継承	継続	地域伝承文化事業 (継続)	地域	×	まちづくり交付金や他の補助金で対応(提案なし)
32	産業・基盤づくり部会	伝統文化の継承	新規	あさひ歴史公園 (やつおもて) の環境整備事業 遺跡の保存整備	地域・行政	×	引き続き検討する(提案なし)
33	産業・基盤づくり部会	伝統文化の継承	新規	ハイキングコース	地域・行政		「ゲレンデトレッキング事業」を提案(H29～30)
						平成27年度末残高	418,029

※各部会で協議された事業及びその検討結果を掲載したものです。

旭自治区地域協議会 部会開催状況

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
地域づくり部会	H27.8.25 19:30-	H27.9.15 19:00-	H27.11.16 19:00-	H27.12.3 19:00-	H27.12.25 13:30-	H28.1.7 9:30-	H28.1.21 13:30-	H28.1.27 13:30-	H28.2.12 13:30-
安心・環境づくり部会	H27.8.10 19:00-	H27.8.31 19:00-	H28.1.21 13:30-						
産業・基盤づくり部会	H27.8.27 13:30-	H27.9.24 13:30-	H28.1.21 13:30-	H28.2.2 13:30-					